

いきいき弟子講座 基礎コース（全9課）



第1課 —献身への召命—

いきいき弟子講座基礎コースによろこそ。これは、あなたの人生に元気を与える興味深いプログラムです。今日の学びは、あなたの人生に神の御言葉の力を解き放つために用意された全9回シリーズの第1課です。これからの数週間、あなたは神との歩みを深める道具を発見していきます。イエス・キリストの弟子としていかに生きるかを学びます。

けれども、あなたが学んだことを実行に移さない限り、この講座は何の益にもなりません。益を得るためにその道具を使わなければなりません。キリストの弟子となるということは知識以上のもの、行動につながるものだからです。あなたの最善を尽くして学んでください。すべての講座をやりとおす決心をなさってください。

今日世界が必要としているのは、神様に真心から仕える男女であり、御言葉に素直に従う弟子たちです。第1課は「キリストに従うとはどんな意味なのか」です。神様があなたの学びを豊かに祝福してくださいますように祈ります。



目 標

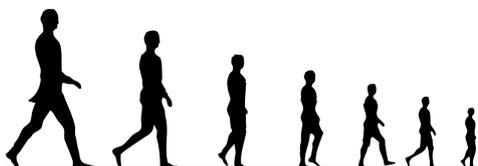
氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 最初の聖書探求の題は、「献身への召命」です。この課は、イエス・キリストの弟子とはどんな意味なのかを追究します。始める前に祈り、各質問に併記されている聖句について考え、答えを自分の言葉でお書きください。
- [] 最初の暗唱聖句はヨハネ17：3とフィリピ4：13です。聖句をカード2枚に書き、1枚ずつ完全に暗記をしてください。（暗唱聖句の原則を復習したい場合は、入門コースの#1「暗唱聖句の鍵」をごらんください。）
- [] この課の終わりの具体的助言を読んでください。「基礎訓練」の内容を簡単に紹介しています。読みながら、あなたの献身のレベルを評価してみてください。この講座を成功させるためには、献身が核になるのです。
- [] 最後に、「基礎訓練」を学ぶ時、神の祝福を祈る時間をとってください。イエス・キリストのさらに忠実な弟子となるように、力を求めてください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

献身は ただの始まり 残りは やりとおすこと

署 名 : _____



Bible Secrets to Living for Christ



聖書探究 1

暗唱聖句

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることで。」ヨハネ 17 : 3 (新共同訳)

「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。」ヨハネ 17 : 3 (口語訳)

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」フィリピ 4 : 13 (新共同訳)

「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができます。」ピリピ 4 : 13 (口語訳)

主題聖句

「そればかりか、わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくと見なしています。(キリストを得、)」フィリピ 3 : 8 (新共同訳)

「わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。(それは、わたしがキリストを得るためであり、)」ピリピ 3 : 8 (口語訳)

1. 次の聖句で、イエスのご自身について何と言われましたか？

ヨハネ 4 : 14

ヨハネ 6 : 51

ヨハネ 8 : 12

2. イエスは私たちにどんな命をお与えになりますか？

ヨハネ 10 : 10

ヨハネ 10 : 28

3. どれだけの方がこのような命を与えることができますか？ ヨハネ 14 : 6

4. イエスは私たちに何を求められますか？

マタイ 10 : 38-39

マルコ 8 : 34-35

ルカ 9 : 23-24

Q. 上記の聖句はキリストに従う献身の重要さについて何を示唆していますか？

5. イエスはご自身の生涯で献身をどのように示されましたか？

ヨハネ 4 : 34

ヨハネ 5 : 30

ヨハネ 6 : 38

ヨハネ 8 : 29

6. イエスはヨハネ 6 : 53-57で、弟子たちの献身をどのようにテストされましたか？

Q. これによってイエスは何を意味されましたか？ ヨハネ 6 : 63

弟子たちはどのように応答しましたか？ ヨハネ 6 : 67-69

ほんとうの弟子になった結果はどんなものでしょうか？ ヨハネ 1 : 14

7. 御言葉をとおしてキリストに今、全人生をささげて従う気持ちがありますか？

あなたの答えを神への短い祈りの形で書いてください。

基礎コースへの序論

具体的助言

基礎コースは、神の御言葉を特定の、また実際の場面でいかに生きるかについての基本を教える、興味深い弟子となるプログラムです。それはチャレンジに満ちたプログラムですが、人生を変えるほどの祝福にも満ちています。次の数節は、これから何を学ぶか、また成功のために何をするかについて概観を述べています。

弟子としての生活

イエス・キリストの弟子であることは報いのある冒険です。しかしそれはまた、重荷になることもあります。自分を信者だと言うのは容易ですが、ほんとうの弟子であるためには、主に従わなければなりません。イエスの言われることをしなければなりません。ルカ 6 : 46参照。弟子には少なくとも4つの面があり、クリスチャンは実生活で具体化するように努力が必要です。これからくわしく学んでいきます。

1. 御言葉：御言葉を定期的に学ぶことは真の弟子にとって必須です。イエスが私たちに何と言われるかを知るのは、御言葉をとおしてだからです。どのように聖書を効果的に学ぶか、また心に蓄えるかについて研究します。

2. 祈り：時代を越えて、神の男女は祈りの重要性を常に認識してきました。祈りは弟子の背後にある力からです。成長の最も有効な方法の一つは祈りのノート（日誌）を作ることです。
3. 服従：弟子とは、神の御言葉を日常生活で具体的に応用する人のことです。このプログラムは、どのように忠実・堅実に服従するかを助言します。
4. 証：究極的には、神のご計画は、周囲の人々に奉仕・伝道するために私たちを用いることです。このプログラムの後の方で、どのように、友人や家族をキリストに出会わせ、そして主の大いなる計画を世界に完成させるか、を探究します。

献身の重要性

モーセは申命記の中で、戦争時にすべきことをイスラエルの指導者たちにはっきりと命じました。上官たちは兵士を集め、次のように訓示するよう求められました。「役人たちは更に民に勧めて言いなさい。『恐れて心ひるんでいる者はいないか。その人は家に帰りなさい。彼の心と同じように同胞の心が挫けるといけなから』」（申命記20：8）。ほんとうに献身していない人はだれでも帰っていいのです。神は、たとえ1人2人であれ一部の献身の欠如は、前線では周囲の者たちの士気を削ぐことを、ご存知でした。戦争に勝つためには、戦隊に亀裂があってはならなかったのです。

私たちも「基礎コース」に船出しようとしているのは、別な種類の戦いに出て行くようなものです。私たちの人生のあらゆる場面で、神の御言葉を生き抜く戦いはやさしいものではないでしょう。忙しさ、困難、気を散らすようなこと、さらに色々なことに直面するでしょう。しかし、敵と戦ってくださる神が共にいて助けてくださることを確信できます（申命記20：4）。神が求められるのは献身です。

このプログラムから最高のものを得るために、次のような決心をしてください。

- 聖書探究を完成し、質問に正直に答え、特に心情的な質問、巻末にある献身の問に正直に答える。
- 暗唱聖句を完全に覚え、毎日復習する。最後には、すべての暗唱聖句を言えるように。
- 各講座の具体的助言を読み、何でも関係ある目標事項に実行してみる。
- ヒントやノートなしで完全に再現できるまで、このプログラムのイラストレーションを学ぶ。
- このコースを学びながら、神の祝福をいつも祈る。イエスが弟子づくりの先生であることを覚えてください。私たちは主が求めておられるような者になるために、主に力を求めます。



第2課 一朝の務め

この課では全課程の中で最も重要な項目の一つを見ていきます。ですから、研究は祈りのうちに十分な時間をかけてください。キリストに従うとはどんな意味か、その核心に情報が集まっています。

クリスチャンはしばしば、聖書を毎日学びなさいと言われる。そのとおりです。しかしどれだけの人が、だれかを座らせ、どうすれば有益な聖書の学びができるかを教えてきたでしょうか。どれだけの人が、どのように聖書を瞑想し、どのように実生活に適用するかを教えられたでしょうか。あなたがこの講座で発見なさるのは、ちょうどこの種の情報なのです。

多くの人が毎朝、聖書研究の濃い、意味のある時間を持ちたいと願っています。しかしどうしてよいか分かりません。この講座を注意深く学んでください。そうすれば、神と共にある人生を実現させる鍵を発見するでしょう。努力がいりますが、最後までやりとおしてください。がんばってください。神はあなたに会おうと待っておられることを思い出してください。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 聖書探究の題は、「朝の務め」です。神の御言葉に毎日一定の時間を取ることは、あなたの心に新鮮な聖句を蓄えるために尽きない源泉となります。特別な洞察力を求めて祈ってください。
- [] 今週の暗唱聖句は申命記17：19と詩編143：8です。できれば二つとも完全に覚え、先週の聖句も少なくとも毎日1度は復習してください。復習の重要性については後程くわしく話し合います。
- [] 聖書の学び方については具体的助言を読んでください。どのように御言葉を瞑想し、また生活に適用するかをしっかりと理解してください。原則と適用のちがいを言えますか？ 朝の務めの時間を継続して取ることは、弟子の基本です。
- [] 先週のイラストレーション「弟子の輪」をよくわかるまで復習してください。完全に記憶できるまでしてください。ヒント：イラストを聖句カードに描いてください。それを暗唱聖句と一緒に簡単に毎日復習してください。まもなく記憶にしっかり残るでしょう。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

神の御言葉に時間を過ごす時、不可能は消えていきます。

署 名： _____





聖書探究2

暗唱聖句

「それを自分の傍らに置き、生きている限り読み返し、神なる主を畏れることを学び、この律法のすべての言葉とこれらの掟を忠実に守らねばならない。」申命記 17 : 19 (新共同訳)

「世に生きながらえる日の間、常にそれを自分のもとに置いて読み、こうしてその神、主を恐れることを学び、この律法のすべての言葉と、これらの定めとを守って行わなければならない。」申命記 17 : 19 (口語訳)

「朝にはどうか、聞かせてください／あなたの慈しみについて。あなたにわたしは依り頼みます。行くべき道を教えてください／あなたに、わたしの魂は憧れているのです。」詩編 143 : 8 (新共同訳)

「あしたに、あなたのいつくしみを聞かせてください。わたしはあなたに信頼します。わが歩むべき道を教えてください。わが魂はあなたを仰ぎ望みます。」詩篇 143 : 8 (口語訳)

主題聖句

「主の書に尋ね求め、読んでみよ。これらのものに、ひとつも欠けるものはない。雌も雄も、それぞれ対を見いださぬことはない。それは、主の口が命じ／主の霊が集めたものだからである。」イザヤ 34 : 16 (新共同訳)

「あなたがたは主の書をつまびらかにたずねて、これを読み。これらのものは一つも欠けることなく、また一つもその連れ合いを欠くものはない。これは主の口がこれを命じ、その霊が彼らを集められたからである。」イザヤ 34 : 16 (口語訳)

1. 次の聖句で、神を熱望する様を、詩編記者はどのように表現していますか？

詩編 42 : 1、2

詩編 63 : 1

詩編 84 : 3 (口語 84 : 2)

2. 神を知る願望が満たされる一つの方法は何ですか？

申命記 17 : 19

使徒言行録 17 : 11

注：日毎に聖書を学んでキリストを見上げる以外に、何人も人の心を満足させることはできません。

3. 個人の聖書研究で神に会う一番よい時はいつですか？ マルコ 1 : 35

注：神は、朝早く主を求める人々に特別な祝福を約束しておられます、つまり、その人々は主を見つけるのです。

4. 聖書を益あるものにするには、何が学びと結ばれなければいけませんか。

ヨシュア 1 : 8

詩編 1 : 2、3

5. 瞑想の究極の目標は何ですか？

詩編 119 : 59、60

テサロニケ 1・4 : 1

6. 御言葉をとおして与えられる、特別な光をどうすべきですか。 申命記 6 : 6

そのようにしなければ、どんな危険を冒すことになりますか？ ヤコブ 1 : 22-25

そのようにすれば、どんな結果になりますか？ 詩編 40 : 8

7. 聖書を日毎に熱心に学ぶと、究極的に何が起こりますか？ コリント 2・3 : 18

8. 毎朝、聖書研究の時間を持つことを今決心されませんか？

短い祈りの形で、あなたの答えを書いてください。

聖書の学び方

具体的助言

1日の初めに御言葉をとおして主と共に時を過ごすほど、イエス・キリストの弟子にとって重要なことはありません。真にキリストに従うためには、聖句を調べ、生活への個人的な洞察を求め、心に語りかける主に耳を傾ける、そのような時間を捧げなければなりません。救い主との真実の、堅実な交わりは、キリストの弟子にとって心臓部にあたります。わたしたちはいきいき弟子講座ではこの時間を「朝の務め」と呼びます。

「朝の務め」用にノートを用意するとよいと思います。筆記用具と聖書も手近に置いてください。また計画を立てることも役立ちます。次の提案は、聖書を効果的に学び、また、神と過ごす時間をとれるように、簡単な鍵となります。

日毎研究計画

- 準備：聖書研究を始める前に、聖霊をとおして教えてください。聖霊だけが御言葉を生きたものにすることができます。ヨハネ14：26、ヨハネ16：13参照。祈る時、あなたの必要、問題、質問、計画、その他を主の前に挙げ、あなたに語ってくださるようお願いしてください。
- 言い換え：「朝の務め」ノートに日付と、今学ぼうとする箇所を書きとめてください。たとえ6－8節だけでも良いので、よく咀嚼できる量だけをカバーしてください。
その箇所を数回読み、何を言おうとしているかわかるまで読んでください。そして自分の言葉で、短く言い換えたものを書いてください。聖書の中から一つの書を選んで読むのが良いようです。最初は短く実際の書から、たとえばヤコブの手紙やテサロニケ第1のようなものから始めることをお勧めします。
- 原則：読んだ箇所を瞑想する時間をもってください。原則、すべての状況下で通じる道徳的教訓を見つけてください。そのやさしい方法は、自分自身で質問することです。避けなければならない罪があるか？ 優れた品性が見られるか？ 因果関係があるか？ 神の御心の表れがあるか？ 約束は？ 止めるべき悪い行為はあるか？ 等々。少しやってみるだけでも、ほとんど直感的に正しい質問をできるようになります。原則はそのページにはちきれそうになっています。一つはっきりみついたら、それをノートに書きとめてください。
- 適用：原則を見つけるだけでは、まだ戦いのなかばです。あなたの個人的な生活・生き方に適用しなければなりません。さらなる質問に答えることによって、原則を適用に換えるのです。質問とは、だれが・なにを・いつ・どこで・どのように、です。自分の手に神の御言葉を受けるために、これらの質問を5本の指としてみてください。その日のうちに、聖句に書かれている原則を実際に行うことが適用です。聖霊が心に思い浮かせてくださったことを書きとめ、やってみるよう決意してください。時間のゆるすかぎり「原則・適用」をさがしてください。

暗唱聖句ヒント

聖書を読み進むとき、覚えたい聖句がたくさん出てくるでしょう。それらを紙に書きとめ、「朝の務め」ノートにリストにしておいてください。まもなく、暗記が楽しみな聖句が山ほどたまるでしょう。

献身の重要性

「朝の務め」を守る最も重要な鍵は献身です、これなくして継続はありえません。たとえ毎朝数分だけでも、「朝の務め」は生活の一部にならなければいけません。目標は、あなたの生涯の最後まで続く習慣を築くことです。あなたのスケジュールを調整して、日毎に主との価値ある時間を割いて根気強く努力してください。

第3課 一祈りによる力一



有用な弟子となるための、もう一つの道具を紹介します。これから祈りについて考えます。多くの人は祈りを何か不思議で奇妙なものと考えていますが、非常に重要なものなのです。祈りにはすべてのクリスチャンが理解すべきいくつかの基本的な原則があります。力強い祈りをささげる人になりたいですか。

祈りは、神の御言葉に約束された祝福を受け取るための手段です。しかし、私たちはあまりにも祈る時間をおろそかにしています。私たちは家族や友人のために祈ると約束しますが、忘れてしまいます。私たちは聖句によって祈りますが、求めたものを受け取るほんの少し前であきらめてしまいます。解決法は何でしょうか？ 多くの人が祈りの日誌であると分かりました。あなたも始めてください。すぐにも、あなたの祈りの生活が成長していくことに気付くでしょう。より規則的に、より忍耐強く祈っていることに気付くでしょう。あなたの祈りはより自分らしく、より神の御言葉に根ざしたものになるでしょう。そしてあなたは、かつてなかったほどに祈りの応えを発見し始めるのです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 聖書探究「祈りによる力」をしてください。これまでの暗唱聖句にある約束を要求できることは、暗唱の大きな祝福の一つです。課題を進める時に、これは主との個人的な交わりの時間であると、しっかり認識してください。
- [] 今週の暗唱聖句はヨハネ15：7とローマ4：20です。よく瞑想し学んでください。これら二つの聖句は、祈りにおける聖書の役割にヒントを与えてくれます。これまでの聖句も少なくとも毎日1度は復習してください。
- [] どのように祈りの日誌を始めるか、具体的助言を読んでください。今週中に少し時間を取り、いくつか祈りのリクエストを書き出し、祈りの日誌を立ち上げてください。必ず助言に従ってください。祈りの日誌が習慣になるとあなたの信仰が強められます。
- [] これまでの二つのイラストレーションを復習してください。イラストレーションは、基礎コースを通して得た洞察を脳裏に留める鍵となるでしょう。聖句カードに書いておけば助けとなります。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

祈りは、天の倉を開く信仰の手にある鍵である

署 名 : _____



聖書探究3



暗唱聖句

「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。」ヨハネ15：7（新共同訳）

「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」ヨハネ15：7（口語訳）

「彼は不信仰に陥って神の約束を疑うようなことはなく、むしろ信仰によって強められ、神を賛美しました。」ローマ4：20（新共同訳）

「彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、」ローマ4：20（口語訳）

主題聖句

「わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる」ヨハネ14：13（新共同訳）

「わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。」ヨハネ14：13（口語訳）

1. 次の聖句でイエスは何をしておられますか？

マタイ14：23

マルコ1：35

ルカ5：16

ルカ6：12

2. どのように、祈るべきかと言われましたか？ それはなぜですか？ マタイ6：6

3. イエスはたとえの中で、祈りについて何を教えられましたか？

ルカ11：1、5-10

ルカ18：1-8

4. 祈りの応えをさまたげる可能性のある3点は何ですか？

ヤコブ1：6-7

ヤコブ4：3

詩編66：18

5. これらの障害を乗り越える人に、どんな約束がされていますか？

マルコ11：24

ヨハネ1・5：14-15

ヨハネ1・3：21-22

注：次の聖句は効力ある祈りを妨げる三つの障害を克服する助けとなります。

信仰の不足（ローマ10：17）、誤った願い（イザヤ30：21）、罪をもてあそぶ（詩編119：11）

6. 祈るべきことをいくつか挙げてください。

ガラテヤ5：22-23

フィリピ4：19

イザヤ48：17

エフェソ6：19

フィリピ1：3-6

マタイ9：37-38

7. なぜ祈りには力があるのですか？ エフェソ3：20

その究極の目的は何ですか？ エフェソ3：21

8. 規則正しく祈りの時間をとることを、今決心しませんか？

神への短い祈りの形でその決心を書いてみてください。

祈りによる力

具体的助言

忠実な弟子たちは常に祈りの重要性を認識してきました。彼らは聖書の中に、祈る人々に約束された無数の約束を読み、偉大な神の男女の熱烈な祈りと、それに対するすばらしい応答について聞きます。彼らはイエスご自身が、熱心で倦むことのない祈りに夜を徹するのを目撃します。そして彼らも伏して、祈りについて力強くありたいと切望します。

多くの人が、もっと堅実な祈りの生活を築くために必要なのは、祈りの日誌であることを知りました。あなたも祈りの日誌をつけ始めたら、ほどなく祈りに成長した自分に気付くでしょう。祈りはただ神から何かをいただく以上のことで、真の目標は、私たちの心が変わえられることです。祈りをとおして、私たちは神の霊に満たされ、キリストのために忠実に生きるよう強められるのです。

祈りの日誌を始める

「朝の務め」で用いるノートを「祈りの日誌」としても用いるために、一部分を祈りのリクエスト用にとっておいてください。(または、2冊目を用意してもよい)。祈りのリクエストは各々、ルーズリーフのように1枚ずつ別個の用紙に書き、次の項目を各ページに入れてください。

■日付：祈りのリクエストとして祈り始めた日。

■リクエスト（テーマ）：できるだけ明確に。神がどのように成就して下さるのかを期待しましょう。

■聖句：そのリクエストは、神のみ心になかったことですか。聖句を一つ、またはそれ以上あげてください。

■応答：各ページの下欄は空白にしておき、リクエストに対して神が成されたことを記録してください。祈りは少しずつ応えられていきますから、神が働かれるどんな証も忠実に書き留めてください。ある人は祈るたびに日付をこの欄に記入します。

祈りの日誌を使う

祈りのリクエストを書き終えたら、「朝の務め」の時間にできるだけ何度も祈ってください。できれば毎日。もし全部のリクエストを祈る時間がなければ、残した箇所にしおりをおき、翌日そこから祈ってください。終わりまで行ったら、また初めにもどってください。

注：もし最優先のリクエストが多くあり、毎日祈りたければ、他のものと分けて祈りの日誌の最初の部分にとじておくともよいでしょう。また聖霊が、あるリクエストを祈るように印象付けていると感じたら、たとえ順序が変わることになっても、導きのままに祈ってください。祈りの日誌はあなたを助けるのが目的で、制限するものではありません。それは規則的でありながら、同時に柔軟性もあるのです。

あなたの祈りの日誌に載っている限り、リクエストについて祈り続けてください。あなたが学び、祈っていると、リクエストに変更を加えたり、聖書の約束を足したりしたいと思うでしょう。またあなたはあるリクエストを消したくなることもあるでしょう。神がお与えになった気づきを書きとめ、除去してください。しかし、聖書の約束に密着したリクエストは、辛抱強く祈ってください。神は常に御言葉とおりに実行されます。応えられた祈りは、将来の信仰と励ましの資源となりますから、保存しておきましょう。

暗唱聖句ヒント

あなたの祈りの生活を強める一つのすばらしい方法は、大切な祈りのリクエストに関係する特有の約束を暗記することです。聖書の実際の言葉で、神の約束に基づいて要求することは、大きな力となります。

献身の重要性

弟子の生涯を生きるには、神様の力に全く頼る必要があります。キリストなくして私たちは何もできません。生活が忙しいほど、祈りの必要が大きくなります。祈りはこのように、神に頼ることを認めることであり、祈りの不足は自己満足の証拠です。自分の生活を反省し、祈りの時間を割くことを真剣に考えてみませんか？ そのことがあなたのクリスチャン生活の他の分野にも力をもたらすでしょう。

第4課 ー真剣な取り組みー



第4課へようこそ。私たちはこれまで大切なテーマを学んできましたが、まだまだたくさんあります。頑張ってください！

そして引き続き、すでに勉強した分野も続けてください。聖書研究の時間を規則的に取り、祈りの日誌をつけるのを止めてしまう誘惑にかられるかもしれません。そんなことが起こらないようにしてください！ 弟子となるということは、階段を一段一段のぼるように進むものです。ですから、これまで勉強したひとつひとつすべてを、積み重ねる努力を続けてください。

この課では、一般に最もおろそかにされがちな分野である、服従について学びます。キリストが言われたことに「真剣に取り組む」ことは、あなたの生活に非常なインパクトとなります。熱意をもって生活に取り入れてください。あなたの生活にきっと変化が起こるでしょう！



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 聖書探究「真剣な取り組み」をしてください。時間を充分にかけ、大急ぎで通過しないでください。
- [] 今週の暗唱聖句は箴言13：4とコリント2・8：11です。これまでの暗唱聖句を覚えていますか？ 毎日復習してください。
- [] 服従において成長するために具体的助言を読み、これらの原則を実生活の中で生かしてください。「祝福される人」は「行う人」であることを覚えてください（ヤコブ1：25）。
- [] イラストレーション「約束の弓矢」を学んでください。これまでのイラストも復習してください。
- [] この課は服従に焦点を当てていますから、あなたのこれまでの忠実さを評価する時間を少し取ってください。朝の務めは継続していますか？ 祈りの日誌はすでに始めましたか？ もしどこかで困っていたら、あなたは服従の問題でつまづいているのかもしれません。神様に問題点を明らかにしてください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

最善を尽くす決心をせよ言い訳は決して最高の結果をもたらさない



署 名 : _____



聖書探究 4

暗唱聖句

「怠け者は欲望をもっても何も得られず／勤勉な人は望めば豊かに満たされる。」箴言 13：4 (新共同訳)

「なまけ者の心は、願い求めても、何も得ない、しかし勤め働く者の心は豊かに満たされる。」箴言 13：4 (口語訳)

「だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。」コリント 2・8：11 (新共同訳)

「だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。」コリント 2・8：11 (口語訳)

主題聖句

「弟子は師にまさるものではなく、僕は主人にまさるものではない。弟子は師のように、僕は主人のようになれば、それで十分である。家の主人がベルゼブルと言われるのなら、その家族の者はもっとひどく言われることだろう。」マタイ 10：24、25 (新共同訳)

「弟子はその師以上のものではなく、僕はその主人以上の者ではない。弟子がその師のようであり、僕がその主人のようであれば、それで充分である。もし家の主人がベルゼブルと言われるならば、その家の者どもはなおさら、どんなにか悪く言われることであろう。」マタイ 10：24、25 (口語訳)

1. イエスは山上の垂訓で、服従について何と教えられましたか？

マタイ 5：19

マタイ 6：24

マタイ 7：13-14

マタイ 7：21

2. なぜイエスは、これほど時間をかけて服従について話されたと思いますか？

服従の大切さについて、イエスのお考えをまとめてください。

3. 次の聖句で服従の代価について、イエスは何と言われましたか？

ルカ 14：26

ルカ 14：33

ルカ 14：28-32で、イエスが使われたたとえ話の要点は何ですか？

4. 従わずに言い訳をする人々を、イエスは繰り返しどう扱われましたか？ ルカ 9 : 57-62
上記の人々とマルコ 1 : 16-20、ルカ 5 : 27-28の人々を比べて下さい。

あなた自身はどちらの種類の弟子だと思いますか？

5. 聖書はどのように、また、なぜ私たちは主の声に聞き従わなければならないと言っていますか？
申命記 28 : 1、2

多くのクリスチャンが成長しない一つの理由は何ですか？ 箴言 13 : 4

パウロはどのように熱心に、教えたことを行うように信者を励ましましたか？ テサロニケ 1・4 : 1

6. 忠実の報いは何ですか？
テモテ 1・1 : 12
マタイ 25 : 21、23

7. イエス・キリストに従うライフスタイルをしっかりと築くことができるように、今決心する時です。
神への短い祈りの形であなたの答えを書いてみましょう。

服従の中の成長

具体的助言

弟子であるとは、換言すれば服従の生活です。キリストに従うようにとの召命、主を私たちの人生の主人とするようにとの召命です。しかし服従は、一晩で学習できるようなものではありません。それは、無数の小さな決心と行動の積み重ねの結果なのです。服従とは、それを成長させようとする心の姿勢です。次の説明で、あなたの服従がさらに勤勉で忠実なものになるための具体的な鍵を見いだすでしょう。あなたは、イエス・キリストの弟子として「真剣な取り組み」とはどんな意味かを学ぶでしょう。

メモ用紙を使う

服従心を養うための最初の鍵は、メモ用紙を使うことです。聖書研究、祈り、暗唱聖句などをする時はいつも、手元にメモ用紙をおく習慣をつけましょう。それはまた、説教やミーティング、その他、神様があなたに語られそうな時にも役立ちます。課題を行う時に聖霊から来るどんな印象も記しておくために必要です。それは、聖書を読んでいる時の確信として、あるいは、祈りの時に浮かんだ靈感に富むアイデアとして与えられるものかもしれません。おそらくそれは、ぜひ追求したいと感じさせるようなゴールや対象物であるでしょう。何であれ書き留めてください。(注：もし紙では不便ならば、聖句カードから未使用のカードを抜いて使用するのもいいと思います。

次に、あいまいな意志と正確な行動計画の違いを見分けることです。次の4点に見合うかどうか確認しながら進めてください。

1. 個人的であること：あなたが自分でできること
2. 達成可能であること：たやすくできる計画
3. 具体的であること：結果を評価できること
4. 聖書的であること：聖書の原則に全的に調和すること

もし計画が上記のテストに合格できないなら、神様の導きを求め続けてください。

最後に、課題はみな、朝の務めノートの特別な場所に移してください。これらの紛失を防ぎ、その課題が終ったことを確認するためです。み心に服従することにあなたが真剣になればなるほど、主はますますみ心を明らかにしてくださるでしょう。

時間管理

神様に忠実に従うには、神様のみ声を聞き逃さないようにしなければなりません。聞くだけでなく、行動しなければなりません。それには、賢い時間の使い方が必要です。「時をよく用いる」術を学べる優れた教材はたくさん存在しますが（エフェソ5：15、16）、最も重要な原則を以下に挙げます

- カレンダー／週間予定表：大切な日程、予定事項、締め切り日などを予定表に書き込む。そして最も重要な仕事から取り掛かる。第一のことは第一に。
- 1日のスケジュール：起床・食事・仕事・その他を計画する。祈りや聖書研究などを習慣にして、予定表に毎日時間を割いておく。
- 延期する習慣を打破する：怠惰は罪で認めることを認め、これを克服する。大きい仕事は、順序を踏んでやっていけるように段取りする。
- 完成者であれ：一つの仕事が完成するまでは、新しい仕事を始めるのを控える。
- ノーと言えるように：時間管理の真のゴールは、もっと仕事を押し込むことではなく、優先順位の問題である。神様の望まれる「最善」から引き離す「善いこと」を避ける。

暗唱聖句ヒント

「勤勉」に関連した聖句を暗唱することを勧めます。聖霊がその聖句によって、必要な時に正しく時間管理ができるように助けてくださるでしょう。

献身の重要性

どの分野においてもそうですが、弟子は、毎朝、神のみ声を聞き、それを行うことが大切です。イエスかノーかを選択しなければならない時、いつも主に服従することを選んでまいりましょう。

第5課 一霊の剣（つるぎ）



あなたはもう基礎コースの半分までできました。これまでやってみていかがでしたか。これまでの課題を続けていますか？あなたが勉強していることは、もちろん、技術です。技術は実行してはじめてマスターできるのです。筋肉について読むだけでは筋肉はつきません、起きて、運動しなければなりません。同じように、どうすればよいかを読んだだけでは、力強い弟子になることはできません。それを働かせる必要があります。ですから、こつこつ実行してください、神は祝福してくださいます。

この課は暗唱聖句の非常に大切な鍵を復習します。数百、数千もの聖句を永遠に心に刻み込むと、何が起きるかを体験するでしょう。聖句を蓄えたあなたを、神はどのようにお用いになるかを考えてください。今週の研究に述べられている秘訣を実行する決心をしてください、そうすれば間もなくあなたの脳は、どんなに暗唱聖句のために造られていたかを発見して驚くことでしょう。熱心に打ち込んで、御言葉をしっかり掴んでください。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 聖書探究「霊の剣」を完成してください。聖霊があなたのほんとうの教師であることを忘れないでください。主の声に聞いてください。主のあなたへのメッセージは何ですか？
- [] 今週の聖句は暗記の重要性を強調しています。申命記6：6と箴言7：1-3です。聖句を覚えることを延ばさないようにしましょう。早めに始め、1週間を通じて復習しながら、この聖句を瞑想しましょう。今までの聖句を全部、少なくとも毎日1度は復習するのを忘れないでください。これがあなたの記憶に刻む唯一の方法なのです。
- [] 暗唱聖句を永遠にとどめるために具体的助言を読み、それから復習用ファイルを作ってください。カードをしまっておく箱を用意してください。よく覚えていないカードには日付を書いてください。2か月以上過ぎたカードをファイルに入れてください。基礎コースの終わる前に復習ファイルができています。
- [] 今までのイラストを復習してください。暗唱聖句と同じように、これらのイラストレーションが長く記憶されるのは、たびたび復習することによります。一瞬見ただけでこれらを描けますか？

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

手中の一本の剣は兵器庫の万の剣より価値がある

署 名： _____





聖書探究5

暗唱聖句

「今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、」申命記6：6 (新共同訳)

「きょう、わたしがあなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、」申命記6：6 (口語訳)

「わが子よ、わたしの言うことを守り／戒めを心に納めよ。それをあなたの指に結び、心の中の板に書き記せ。」箴言7：1-3 (新共同訳)

「わが子よ、わたしの言葉を守り、わたしの戒めをあなたの心にたくわえよ。これをあなたの指にむすび、これをあなたの心の碑にしるせ。」箴言7：1-3 (口語訳)

主題聖句

「というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。」

ヘブライ人への手紙4：12 (新共同訳)

「というのは、神のことは生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髄とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができます。」ヘブル人への手紙4：12 (口語訳)

1. ヘブライ4：12で、神の御言葉はどのように表現されていますか？

2. どれほど力強いですか？ イザヤ55：11

3. 御言葉は何ができますか？

使徒言行録20：32

詩編119：11

ヨハネ15：7

イザヤ30：21

詩編119：42

4. このような経験を持つには、何をどのようにと神は教えておられますか？

申命記6 : 6

ヨブ22 : 22

箴言4 : 4、5

コリント1・15 : 1、2

注：暗唱聖句は人生を変えることができます。それは、御言葉の変革力が1日中、教会員に有効に働いているからです。

5. 神はどこに御言葉を示したいと望まれますか？

エレミヤ31 : 33

イザヤ59 : 21

6. 次の聖句を読んでください。7句すべての中で詩編記者は何を決心していますか？

詩編119 : 16、83、93、109、141、153、176

7. 聖書を心に書きつけておく重要性を、神がそれほどまでに強調されるのはなぜだと思えますか？

8. 次の状況で、記憶された聖書をキリストはどのように使われましたか？

マタイ4 : 1-10

マタイ19 : 3-6

ルカ24 : 25-27

9. イエスが聖書に頼られたのなら、私たちも日毎に聖書を用いることがどんなに大切だと思いますか？

10. 暗唱聖句と復習を生活の一部とするように、今決心されませんか。

神様への短い祈りの形であなたの答えを書いて下さい。

聖句の思い出し方

具体的助言

これまで私たちは、朝ごとにキリストへの献身を深める方法、聖書を学ぶこと、ノートを使って祈ること、主への日毎の義務を果たすこと、その他を学習してきました。これらはみな効果的な朝の務めに重要です。さらにこれからの学習では、暗唱聖句によって献身を1日中持続するための有力な道具を紹介します。「押し流されてしまわないように」(ヘブライ2 : 1)、神様からお聞きしたことに「注意を払う」方法を学びます。聖句を心に刻み込んでおくと、どこにいても瞑想できます、いつでも約束を要求できます。行動に移しやすくします。毎朝のキリストとの経験を一瞬一瞬の経験に変えるために、聖句を心に蓄えることを学び、保ち続けるのです。以下の提案が助けとなります。

日毎の復習

たいていの人にとって、暗唱聖句が難しいのは、暗記することよりも記憶しておくことです。平均的な人は、一つの聖句を10分ないし20分で容易に暗記できますが、わずかに数日後に忘れてしまうのです。成功する暗唱方法は、ただ聖句を暗記する以上のことを要求します。つまり、永久に聖句を心の板の上に刻むことを学習しなければなりません。その秘訣は日毎の復習です。

聖句をひとたび暗記したら、日付を入れ、最近暗記した聖句と一緒に毎日、好ましいのは朝の務めの時間に復習してください。1日も飛ばさないでください。カードの片面、引用箇所側を見て聖句を唱え、カードを裏返し、正確かどうかをチェックしてください。とても大切なことは、聖句の前後に引用箇所を唱える習慣をつけることです。これが引用箇所を聖句につなげる助けになります。数週間後にその聖句は簡単に言えるようになりますが、やめないでください。記憶に永久にしっかり刻まれるには、まる2か月間もかかります。

月間復習

カードの日付が2か月たったら、永久ファイルの箱に移してください。これらの聖句も新鮮にしておくために、時おり復習が必要です。できるだけ、初めの内は週に最低1度、復習してください。後に、数百句にもなると、お得意となった聖句を別の場所に移して月間復習をしたくなると思います。一般的なルールとして、一斉復習は少なくとも月に1度、絶対に必要です。少々さびついたような聖句には、ちょっと手入れをしましょう。月間復習の箱から抜き、しばらく日毎または週間復習に入れてください。すぐにもとどおり暗唱できるようになります。

献身の重要性

考えてみてください。もし1週2聖句を暗記し、効果的な復習方法を用いたら、1年以内に100以上もの聖句が蓄積されます。10年では1,000以上になります。想像してください。1,000の聖句があなたの心に完璧に刻まれ、口から正確に出てくるのです。

そうなるためには献身が必要です。ある人にとっては、最初はとても難しいでしょう。事実、暗記が習慣化するまでには数か月かかるかもしれません。この期間、ほんとうに努力がいますが、成功するためにはあきらめてはいけません。自分の速度を決め（たとえば週に2句）、これに集中します。いつでも「それ以上」の聖句も暗記できますが、決めた数以下になってはいけません。ゴールは一貫していること、あなたの全生涯にわたる習慣を作りあげていることを自分に思い出させてください。

結果として、暗記はやさしくなり、報いは大きくなります。まもなくあなたは、1日中聖書で瞑想していることができ、必要な時に必要な約束をとおして力を受けるでしょう。重大な決断やその他のことにおいて、御言葉をとおして適切な導きを見いだすことでしょう。まもなくあなたは、蓄えられた御言葉なしの人生を考えられなくなるでしょう。けれども、そこに至るまでは「献身」が必要です。

第6課 一人伝道



ここまでよく努力なさってこられました。これからまた大切なトピックに移ります。特にこの講座では、どうすれば周囲の人々に対してキリストの証人になれるか、を見ていきます。提案を注意深く学んでください。神があなたに、イエスを分かち合うすばらしい機会を数多くお与えくださいますように。

パウロは「わたしたちの間でキリストのためになされているすべての善いことを、あなたが知り、あなたの信仰の交わりが活発になる」ことを願っていました（フィレモン1：6）。換言すれば、イエスが私たちにして下さったことを単純に分かち合うことほど、力あるものではありません。これが「証とは何か」のすべてです。見たこと・聞いたことを告げるのが証です。証は信仰の仲間をも勇気づけます。だから分かち合いましょう。

力強い証人であるためには、キリスト中心の生き方が基本だということを覚えてください。聖書研究・祈り・御言葉への服従を忘れないようにしましょう。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 聖書探究「個人伝道」を完成してください。神の御言葉を他者と分かち合うことが、暗唱聖句のもう一つの理由です。ペトロの言うように「いつでも弁明できるように備えていなさい」（ペトロ1：3：15）。
- [] 今週の聖句は三つですが、どれも短くてやさしいものです。ローマ3：23、ローマ5：8、ローマ8：14。あなたは聖句カードを適切に使用していますか、毎日復習していますか、完全に暗記していますか？
- [] あなたの個人的な証を分かち合うための具体的助言を読んでください。また、イエスがあなたの人生にして下さったことを証しする機会が増すように神様に祈り求めてください。
- [] 今週必ず、自分の個人的証を考えてください。時間を取って、実際に書き出してください。3分で証できるように、できれば、2分間を目指してください。
- [] 暗唱聖句の公式を学んでください。これまでのイラストレーションはみなはっきり覚えていますか。よくわかるまで時間をかけ、時々復習してください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

仕事を神聖にするのは何をするかではなく、なぜするかである

署 名 : _____





聖書探究 6

暗唱聖句

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、」ローマ 3 : 23 (新共同訳)

「すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、」ローマ 3 : 23 (口語訳)

「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」ローマ 5 : 8 (新共同訳)

「しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。」ローマ 5 : 8 (口語訳)

「神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。」ローマ 8 : 14 (新共同訳)

「すべて神の御霊に導かれている者は、すなわち、神の子である。」ローマ 8 : 14 (口語訳)

主題聖句

「わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。」ヨハネ 1・1 : 3 (新共同訳)

「すなわち、わたしたちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせる。それは、あなたがたも、わたしたちの交わりにあずかるようになるためである。わたしたちの交わりとは、父ならびに御子イエス・キリストとの交わりのことである。」ヨハネ 1・1 : 3 (口語訳)

1. イエスは、ご自分の使命を何とみなされましたか？

マタイ 18 : 11

ルカ 19 : 10

テモテ 1・1 : 15

2. イエスは見失われた者に対してどのように感じられましたか？ マタイ 9 : 36

3. 見失われた者を探し出すイエスの動機はどれほど強かったですか？ ヨハネ 4 : 34、35

4. この分野でもっとイエスのようになるには、失われた者に対する態度をどう変える必要がありますか？
5. 次の聖句でイエスは、従う者はどうしなければならないと言われましたか？
ヨハネ15：27
使徒言行録22：15
6. この働きはどこまでしなければなりませんか？
マタイ24：14
使徒言行録1：8
7. 証し人は何について話すように求められていますか？ ヨハネ1・1：1－2
- 個人的証しはどれほど力がありますか？ ルカ8：38－40
8. 自分の宗教経験を評価してください。あなたはキリストとの個人的出会いをもった、と言えますか。もしそうなら、どのようにしてですか。
9. 証に神の御言葉を用いる重要な理由は何ですか？
テモテ2・3：15
ペトロ1・1：23
詩編119：42
イザヤ55：11
10. キリストとの個人的な出会いの経験を友人や家族と分かち合う機会をさがす決心を、今なさいませんか。神への短い祈りの形であなたの答えを書かれませんか。

個人的な証

具体的助言

神のご計画は、すべてのクリスチャンを、主の力強い証人にさせることです。主は、私たちの経験を人と分かち合う機会を与えることを喜ばれます。しかし多くのクリスチャンは、最も基本的な道具である個人的な証でさえ準備していません。人々に伝道しようという姿勢で生活する人はほとんどいません。以下の助言があなたの役に立ち、友人家族とキリストを分かち合うことができますように祈ります。

あなたの個人的世界

私たちはそれぞれ、互いに影響し合う「人の輪」をもっています。それを「個人的世界」と考えてもいいでしょう。あなたを用いてこの輪に接触することが神のご計画なのです。実際、あなたがこの輪の何人かにとっては、クリスチャンに接触できる唯一の接点かもしれません。キリストをほんとうにあなたの生活の中心とするためには、主をあなたの個人的世界の中心としなければなりません。

あなたの個人的世界についてちょっと考えてください。キリストのためにあなたが接触できる人があなたの周囲にいますか。クリスチャンではない、少なくとも6人の名前をあげてみてください。もしクリスチャンではない友だちがそんなにいないければ、もっと大勢コンタクトできる方法をさがす必要があるでしょう。電話をかけたり、訪ねたりできる以前からの友人はいますか。職場や学校で知り合いになれる人はいますか。近所の人で食事に招くことのできる人はいますか。あなたのリストが最低6人になるまで、このように探してみてください。

次に、祈りの日誌に各人の祈りのリクエスト用紙をはさみ、毎日名前をあげて、神様が彼らの心に主に対する渴きを起こしてくださるように祈り始めてください。あなたの人生に神様が与えてくださった力強い証を分かち機会を与えてくださるように神に求めてください。また、そのような機会を注意深く見極め、見出したら大胆に行動できるように祈ってください。あなたが親切で、キリストのようであれば、神は心の中を開いてくださいます。あなたの役割は、自分自身が経験したことを証することなのです。

あなたの個人的な証

もしあなたが信仰を持って祈り、誠実に見守っていたら、証の機会はやって来るでしょう。鍵は用意ができています。前もって、自分の証を考える時間を持ち、実際に書いておくことです。

たとえば、クリスチャンになるのに、主はあなたをどのように導いてくださったのか。あるいは、もしあなたがクリスチャン・ホームに生まれたとしたら、キリストに従う決心をした一番の理由は何だったのか。良い証は短く、2、3分くらいで、単純なもの、宗教用語をさけることです。また、はっきりと救いについて語られていなければなりません。クリスチャンになる前の生活と、なった後の生活との違い、かつ、どのようにしてあなたがクリスチャンになったかに焦点をあてることです。できるだけ明快に語り、あなたの話を聞くだけで、どのようにしてクリスチャンになることができるか、未信者の人がわかるようにしてください。できれば、一つの適切な聖句を引用し、それを暗記してください。仕上がったら、教会員同士で練習してください。その後、神様はどのように孤独、恐れ、人生の目的などがわからないときかに助けてくださったかを書き加えることもできます。直接の個人的証ほど力強く、否定しがたいものはありません。

暗唱聖句について

暗唱していた聖句をとおして、神はあなたの生活の中に働いてくださっていますか。教会員同士で証をしあうことも力になり励ましになります。また、もしだれかが暗唱聖句を始めるきっかけ作りになったとすれば、その人の人生転換を助けたことになります。ですから、神様の御言葉がどれほどあなたを祝福しているかをいつでも証してください。

献身の重要性

証はキリストと一緒にいれば自然にわき起こる、と考えるので下さい。私たちはキリストと共に過ごすと同時に、またキリストを伝える努力もしなければなりません。それには献身が要求されます。あらゆる機会に主と行動を共にしましょう。時には犠牲を払うことがあるかも知れませんが、私たちの指針は明白です。キリストの生きた証人になる決心をしませんか？



第7課 —教会員の群れ—

第7課へようこそ。基礎コースも終わりに近づいてきましたが、いかがですか。暗唱聖句は順調にいらいますか。聖書探究は、イラストレーションはいかがでしょう。あなたの生活すべてにおいて実践的に聖書を適用するよう決心してください。不変の御言葉を働かせましょう。

これから、忠実なキリストの弟子であり続ける上で重要な鍵の一つ「チームワーク」について考えます。教会や集会への参加は有益ですが、それだけでは不十分です。私たちは、親密な小グループだけが与えることのできる励ましや、勧告が必要です。終末が近づくほど、神の民と一緒に歩むことはより重要になっていきます（ヘブライ10：24-25）。1人では危険です。

霊的覚醒は時にひとりの人から始まりますが、なかなか長続きしません。また燃え続けても孤立していても大きな炎になりません。献身した弟子のグループが定期的に会うことは、キリストのために大きな炎となる導火線の役を果してくれます。それは起こるのです。



目 標

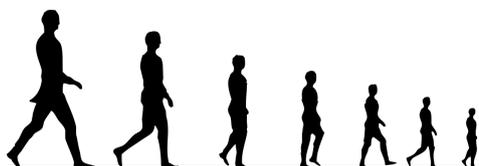
氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 聖書探究「教会員の群れ」を完成してください。御言葉を継続するために必要な励ましを受けていますか？ もし「はい」なら、このような交わりを持ち続けるために、あなたは何かができますか？ もし「いいえ」なら、改善するために、あなたは何かができますか？
- [] 今週の暗唱聖句は、ヘブライ3：13-14と、コリント1・1：10です。これまでのものも含めて、どの聖句も完全に暗記して、このプログラムを終了するようにベストを尽くしてください。あなたにはできます！
- [] 有効なチームの作り方について具体的助言を読んでください。チームの一員であることは、クリスチャン生活の継続に最も重要な鍵となります。またすばらしい祝福でもあります。私たちすべてに急務である交わりを得るために、ここでのアイデアが役立つことを願っています。
- [] この課では、再度イラストレーション〈弟子の輪〉を考え、それにいくつかのことを追加してみたいと思います。今までのイラストレーションはよく理解できていますか？

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

最も弱い鎖の輪も連結していれば強いようにわたしたちもチームとして働けば強い。

署 名： _____





聖書探究 7

暗唱聖句

「あなたがたのうちだれ1人、罪に惑わされてかたくなにならないように、「今日」という日のうちに、日々励まし合いなさい。わたしたちは、最初の確信を最後までしっかりと持ち続けるなら、キリストに連なる者となるのです。」ヘブライ3：13、14（新共同訳）

「あなたがたの中に、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となるのである。」ヘブル3：13、14（口語訳）

「さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。」コリント1・1：10（新共同訳）

「さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたに勧める。みな語ることを一つにして、お互いの中に分争がないようにし、同じ心、同じ思いになって、堅く結び合っているように。」コリント1・1：10（口語訳）

主題聖句

「サウルもギブアの自分の家に向かった。神に心を動かされた勇士たちは、サウルに従った。」サムエル上10：26（新共同訳）

「サウルもまたギベアにある彼の家へ帰った。そして神にその心を動かされた勇士たちも彼と共に行った。」サムエル上10：26（口語訳）

1. クリスマンが励ましと訓練と交わりを得ることのできる二つの場所はどこですか？

使徒言行録2：46

使徒言行録5：42

使徒言行録20：20

注：クリスマンは、定期的教会出席の重要性を認めますが、小さい、家の集まりもまた大切です。両方が初代教会に存在しました。

2. 小グループの集まりはなぜ重要ですか？

ヘブライ3：13-14

ヘブライ10：24-25

注：公の集会には多くの祝福がありますが、小グループでの親密な交わりなしには、励ましや責任感の必要がしばしば充足されないことがあります。

3. 小グループに属することによって、弟子のどの面が強められますか？

マタイ18：19-20

ルカ24：32

コリント1・4：16-17

フィリピ1：14

4. 次の聖句で、だれが伝道の基本として小グループを用いましたか？

マルコ3：14

使徒言行録20：4

5. パウロは共に働くことの必要をどう表現していますか？

エフェソ4：15-16

6. 伝道は一般的にチームで行うのが最善だとされる理由は何ですか？

箴言15：22

コヘレト4：9-10

ローマ12：6-8

コリント2・8：14

レビ26：7、8

7. 教会員同士が定期的な交わりを持てなければ、私たちはどう感じますか？ テサロニケ1・2：17

8. 更によりイエス・キリストの弟子となるために、仲間である教会員の集会に参加する決心を表してみましょう。神への短い祈りの形であなたの応答を書いてみてください。

有効なチームの鍵

具体的助言

聖書には、神が聖霊に満たされた男女をとおして主の目的を成就されるのがよく見られます。神様はいつもひとりの人から始められます。聖なる目的をその人の心に与えて燃やし、その成就の保証を約束されます。しかし、1人で始め、1人で完了することはまれです。むしろ神は、もっと多くの人々に同じ目的、同じような約束を与え、協力して共通の使命を達成するように導かれます。このことは、ダビデと勇士たち、エリシャと若き預言者たち、ネヘミヤと城壁工人たち、イエスやパウロの伝道チームに見ることができます。神様は聖書時代と同様、今日も強いチームを作りたいと思っておられます。

チームの目的

世の中にはいろいろな種類のチームがあります。急きょ編成された警察隊から、セーターのセールス網、あるいは熟練した交響楽団にいたるまで、成功したすべてのチームには一つの共通した特徴があります。目的または使命を共有していることです。弟子チームの目標は、イエス・キリストの最高の弟子になるために各メンバーを動機づけることです。

弟子チームは、主に忠実に従う弟子を産み出す環境を整えていきます。各メンバーに最高の霊的成長を促し、彼らをとおして世にインパクトを与えます。各メンバーが弟子としてあらゆる分野で前進するようチャレンジを与えます。より深いレベルでの献身を求めます。最高の意味で成功するためには、チームの各メンバーがこのゴールをはっきり理解し、それに向かって働くことです。

注：弟子講座プログラムは、真剣に霊的成長をめざすチームが使うよう特別に企画されています。

チームのための計画

クリスチャンの小グループはいろいろありますが、そのほとんどは、イラストレーション〈弟子の輪〉にある4つのスポークに集約できます。聖書研究クラス（御言葉）、祈りの組（祈り）、支援グループ（服従）、伝道集会（証）。しかし、これらのどれも単独では充分ではありません。弟子チームは、4つの構成要素を全部そのプログラムに組み入れようとするものです。どれもが弟子づくりに必須だからです。チームには最小限、次の4項目が欠かせません。

- 御言葉：どの集会でも、真剣な聖書研究と暗唱聖句の時間を持つべきです。もしチームが絶えず成長し、キリスト中心を貫こうとするなら、チームは御言葉の中に生活を変える原則を発見し、心に蓄えなければなりません。
- 祈り：チームは彼ら自身のため、また他者のために心を合わせて祈る必要があります。一致と忠誠の意識を養うことが必須です。どの集会でも、チームの課題を分かち合う祈りの時間を取ってください。
- 服従：服従心を成長させるには、チームは通常ゴールを定め、成功を目指してお互いに責任を負い合わなければなりません。このゴールは週単位で立て、聖書の具体的適用に焦点をおいてください。
- 証：チームメンバーはだれでも伝道に献身し、適切な訓練に時間をさかなければなりません。メンバーが外部の人と接触ができるようになれば、集会は感謝の報告・企画・相談の場になります。

献身の重要性

神は初めから、霊的成長をはかるためにチームの力を用いられました。多くの人が、チームの一員である間は生活の変革を経験をしましたが、一旦つまずくとチームは存続不能になりました。このようなことが起こらないようにしてください。息の長い弟子チームの一員になるように、心から献身しようではありませんか？



第8課 一掛け算の神秘—

全プログラム中、最も説得力のある講座へようこそ。あなたは、イエス・キリストの大いなる基本計画を発見しようとしています。今まで「大宣教命令」について考えていたすべてを変えてしまうような、すぐれた方策を見いだすでしょう。あなたはそこに、イエスのみこころを見るでしょう、なぜならこれこそ罪に病む世界に到達する主のご計画だからです。

その計画とは霊的掛け算です。もし1人の献身した働き人が毎年1人の弟子を生み出すなら、10年で1,000人になります。数的には、20年で百万、30年で10億を越えることになります。35年以内で現在の地球上の人口の4倍以上になります。これが霊的掛け算の力です。しかし鍵は、もちろん訓練です。どの弟子ももう1人の弟子を生み出せる準備ができていなければなりません。鎖は切れてはならないのです。あなたは今や鎖の一部なのです。



目 標

氏 名 : _____ 日 付 : _____

- [] 聖書探究「掛け算の神秘」に注意を集中してください。この世に来られたキリストの戦略をしっかり学び、あなたも献身してください。
- [] 今週の聖句はイザヤ60：22とテモテ2・2：2です。プログラムが終わりに近づいていますので、やりそこなった聖句に追いついてください。復習！ 復習！ 復習！
- [] 弟子づくり伝道を始めるに当って具体的助言を読んでください。あなたが学んできたことを他の人にひきついでいく仕方を徐々に見いだすでしょう。あなたの周囲に霊的成長への渴きを持っている人を見つけられるよう神様に祈ってください。おそらく神様は、あなたを用いて「いきいき弟子講座」を始められるでしょう。
- [] 先週のイラストレーション〈弟子の輪〉を復習してください。今では、これは「基礎コース」全体の中心であることがお分かりでしょう。他のイラストレーションを復習する時、それぞれが全体像の中でどのように位置づけられるかを考えてください。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

だれでも木の中のリンゴは見える
しかしリンゴの中に木を見るにはほんとうの視力が要る

署 名 : _____



聖書探究 8



暗唱聖句

「最も小さいものも千人となり／最も弱いものも強大な国となる。主なるわたしは、時が来れば速やかに行う。」イザヤ 60 : 22 (新共同訳)

「その最も小さい者は氏族となり、その最も弱い者は強い国となる。わたしは主である。その時がくるならば、すみやかにこの事をなす。」イザヤ 60 : 22 (口語訳)

「そして、多くの証人の前でわたしから聞いたことを、ほかの人々にも教えることのできる忠実な人たちにゆだねなさい。」テモテ 2・2 : 2 (新共同訳)

「そして、あなたが多くの証人の前でわたしから聞いたことを、さらにほかの者たちにも教えることのできるような忠実な人々に、ゆだねなさい。」テモテ 2・2 : 2 (口語訳)

主題聖句

「こうして、神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。」使徒言行録 6 : 7 (新共同訳)

「こうして神の言は、ますますひろまり、エルサレムにおける弟子の数が、非常に増えていき、祭司たちも多数、信仰を受け入れるようになった。」使徒言行録 6 : 7 (口語訳)

1. 福音はどれほど遠くまで伝えられなければなりませんか？ マルコ 16 : 15
2. これを完遂する鍵は何であると、イエスは言われましたか？ マタイ 9 : 37-38
3. イエスが12弟子を召された目的は何でしたか？ マルコ 3 : 14
4. 主が彼らに教えられた学課は何でしたか？
マタイ 6 : 6
ヨハネ 8 : 31-32
ヨハネ 15 : 14
ルカ 9 : 2
5. 訓練の結果はどうでしたか？
使徒言行録 4 : 33
使徒言行録 6 : 7

6. 弟子の訓練に関してイエスは何とされましたか？ マタイ28：19、20
7. パウロは伝道旅行でだれと一緒にでしたか？ 使徒言行録20：4
8. パウロが他の人に教えた学課は何でしたか？
テモテ1・2：1
テモテ2・2：15
テサロニケ1・4：1
フィリピ2：15、16
9. 初代教会におけるパウロによる訓練の結果はどうでしたか？
使徒言行録19：8－10
テサロニケ1・1：5－8
10. パウロはこの弟子職訓練プログラムを、だれが続けるように期待しましたか。 テモテ2・2：2
11. パウロの伝道方法とキリストのそれとの類似点は何だと思えますか。新約聖書の伝道について、あなたは
どう思えますか。
12. 人々の生活に投資することをとおして、靈的掛け算の原則による特別な伝道に、今献身したいと思いま
せんか？ 神への短い祈りの形であなたの応答を書きましょう。

主の弟子をつくる人になる

具体的助言

イエスの至上命令は、福音を説教するだけでなく弟子をつくること—イエスが教えられたすべてのことを守るように、彼らに教えることでした。神様の御計画は今日も引き継がれています。私たちに委ねられたことを、忠実な人々に委ねなければなりません。なぜなら、収穫は多いのに働き手が少ないからです。この滅びゆく世界に出て行って福音を伝えるためには、働き人を産み出すことに焦点を当てなければなりません。以下のリストから、弟子づくりを始めるための多くの示唆を見いだすでしょう。注意深く研究し、靈的成長に関心のある友人を探してください。もしあなたがこれまでの課題をまじめにこなしてきたなら、他の人の人生にかかわりを持つ資格が備わったといえるでしょう。あなたは他の人を弟子にする前に、あなた自身が弟子でなければならぬことを思い出してください。

選び

弟子訓練に心を開く人を見分けられるように、神様のお助けを祈り始めてください。イエスは、12人を選ぶ前に徹夜で祈られました。ルカ6：12－13参照してください。訓練は時間がかかります。ですから、賢明に取り組んでください。神様に祈るとき、ふさわしい人々が見出されるでしょう。特に次のような人を探してください。

- 誠実 — 目標に向かい、常に努力する人
- 意欲 — 弟子訓練の時間を自分のスケジュールに喜んで組む人
- 靈的 — 聖書を自分の考えの中心に置く人
- 素直 — 新しい考えに柔軟で、新しいことを試す人

次のような人には注意してください。

- 罪深い — 罪を捨てず、もてあそぶ人
- 怠慢 — 与えられた仕事をやり遂げる努力をしない人
- 頑固 — 自己流に固執し、変化をきらう人
- 世的 — この世の価値観や目標にとらわれている人

伝授

人の訓練を手がけるのに最もよい方法の一つは、いきいき弟子講座入門コースを利用することです。友だち2、3人を集めて小グループを立ち上げてください。入門コースは暗唱聖句の簡単な5週間の講座です。これを使うと、あなたは受講者の進行度が分かります。このコースを忠実に終了した人は、「基礎コース」、「育成コース」へ進むことができます。やがてこの人々は自分自身のチームを指導できるようになり、教会でさらに他の人々を弟子にするよう働くことができるのです。まもなくあなた1人から1,000人の弟子が生まれるのです。イザヤ60:22を見てください。

次の4段方式は単純ですが有益ですから、訓練の時によく覚えておいてください。この方式を暗記し、人の成長を助けようとする時、これに従ってください。

1. なぜか、を話す — 聖書の中から
2. どのように、を見せる — あなたの实生活の中で
3. スタートさせる — 小さい目標で
4. 継続させる — 献身への召命によって

注：さらなる情報として、指導者の手引きをお勧めします。あなたの伝道に対する潜在力の錠を開ける力ある鍵を発見してください。

献身の重要性

あなたが他者を訓練しようとする前に、彼らも同じく献身しているかを確認してください。あなたが彼らのゴールを定め、その目標を達成するために、その進捗状況をチェックするなど、喜んで彼らを助ける用意があることを伝えましょう。弟子としてのさまざまな原則を生活の中に定着させ、また継続・発展させていくには、このようなサポートが必要なのです。もしあなたの友人がこの種の訓練に意欲的でなければ、多分その人は長続きしないでしょう。意欲のない人を訓練しようと思わないで下さい。献身が鍵であることを忘れないでください。

掛け算表

次の表を見てください。1人の献身した人が、同様にするよう他の人を訓練した場合の潜在的インパクトを示しています。1年目の終わりに、両者がもう1人をかちとるように献身します。2年目の終わりには、働き人の数は4人になるでしょう。その後も続いていきます。

33年までには働き人の数は現在の地球人口を越えます。これは、たった1人の人が一年間伝道・訓練したことによるものです。神の至上命令の真髄です。

年	働き人	年	働き人	年	働き人
1	2	12	4,096	23	8,388,608
2	4	13	8,192	24	16,777,216
3	8	14	16,384	25	33,554,432
4	16	15	32,768	26	67,108,864
5	32	16	65,536	27	134,217,728
6	64	17	131,072	28	268,435,456
7	128	18	262,144	29	536,870,912
8	256	19	524,288	30	1,073,741,824
9	512	20	1,048,576	31	2,147,483,648
10	1,024	21	2,097,152	32	4,294,967,296
11	2,048	22	4,194,304	33	8,589,934,592



第9課 一人生の目的

ついに、基礎コースも最後の課までできました。とても大切な学びになります。ここでは、あなたの個人的弟子訓練を将来にわたって忠実に続けるにはどうしたら良いかを学びます。これまでの基礎コースで祝福されていますか。元に戻らないでください。日毎に神の御言葉を生き抜いていけばよいのです。人生の目的に向かって前進するよう決意してください。

あなたはもうはっきりお分かりになったと思いますが、弟子になるとは、単に暗記のコツを勉強する以上のこと、人生そのものなのです。神様は、御言葉が私たちクリスチャン経験のあらゆる面で生きた力になるのを望んでおられます。御言葉が私たちの思いを形造り、歩みを導き、祈りに靈感を与えることです。御言葉は誘惑に抵抗する力を与え、心を励まし、働きに備えさせ、周囲の人々を弟子にする力を授けます。御言葉はこれらすべてのことを、いえ、それ以上のことをします。

パウロはそのことを良くわきまえて次のように言いました。「しかし、信仰による義については……何と云われているのだろうか？ 『御言葉はあなたの近くにあり、あなたの口、あなたの心にある』」（ローマ10：6-8）。



目 標

氏 名： _____ 日 付： _____

- [] 聖書探究「人生の目的」を完成してください。この研究では成功する弟子となる秘訣を見ていきます。事実、それがクリスチャン生活のすべてにとっての秘訣です。この学びが、あなたの生涯をとおしてキリストと共と忠実に歩む上で必要な力となるよう祈ります。
- [] 今週の暗唱聖句は、ヨハネ2・1：8だけです。これまでの暗唱聖句をすべて覚えている人は、好みの聖句を追加して暗記してください。
- [] 最後の具体的助言を見てください。祈りつつ内容に目をとおしてください。この講座の1ページ1ページをとおして、神様はあなたをより大きな人生の目的に召しておられますか？
- [] これまでの<イラストレーション>を復習してください。全部をマスターしましたか？
- [] 今週、特別な時間を割いて、あなたの支援で霊的に成長できる方を少なくとも1人与えてくださるよう祈りましょう。他人の人生をお助けする責任を負いましょう。

* [] 内は、達成した時のチェック用です。

最も大切なのは、どう良く始めるかではなくどう良く終えるかである



署 名： _____

聖書探究 9



暗唱聖句

「気をつけて、わたしたちが努力して得たものを失うことなく、豊かな報いを受けるようにしなさい。」
ヨハネ 2・1 : 8 (新共同訳)

「よく注意して、わたしたちの働いて得た成果を失うことなく、豊かな報いを受けられるようにしなさい。」ヨハネ 2・1 : 8 (口語訳)

主題聖句

「バルナバはそこに到着すると、神の恵みが与えられた有様を見て喜び、そして、固い決意をもって主から離れることのないようにと、皆に勧めた。」使徒言行録11 : 23 (新共同訳)

「彼は、そこに着いて、神のめぐみ見て喜び、主に対する信仰をゆるがない心で持ちつづけるようにと、みんなの者を励ました。」使徒言行録11 : 23 (口語訳)

1. パウロの人生の目的をどのように要約できますか？ コロサイ 1 : 28-29
2. パウロは初代教会の信者にどのように目的を持って生きるべきかを諭しましたか？
コリント 1 : 15 : 58
フィリピ 1 : 27
コロサイ 1 : 9-10
3. 目的ある人生を送る力の源は何ですか。 ゼカリヤ 4 : 6
4. クリスチャンの人生になぜ聖霊が重要なのですか。
ヨハネ 15 : 26
コリント 2・3 : 18
5. 弟子づくりのどんな領域で、聖霊は私たちを力づけ、支えてくれますか。
エフェソ 6 : 18
ヨハネ 14 : 26
エゼキエル 36 : 27
使徒言行録 1 : 8

注 : 弟子としての生活の中で聖霊がいかに重要であるかを言えますか？

6. 聖霊が与えられるにあたっては、その前にどのような出来事が行われましたか。
使徒言行録2：22-24、33
ガラテヤ3：13、14
7. 聖霊を受けることにおいて、私たちの役目はなんですか。
ルカ11：13
ヤコブ1：6
エレミヤ29：13
8. イエスのお帰りまで、日毎に、あなたの人生に対する神様の最高の目的を成就するために、信仰によって聖霊の力を真心から求める決心を今なさいませんか？ 神様への短い祈りの形であなたの答えを書いてみませんか。

聖霊に満たされた生活

具体的助言

基礎コースの終わりが近づいています。私たちはこれまでかなりの情報を網羅しました。疑いもなく、これらの研究をとおして、あなたはより強い弟子への召命を受けられたことでしょう。おそらくあなたは過去数週間、主とのすばらしい経験を持たれたことでしょう。そしてそれが続いてほしいと願っておられることでしょう。さて問題は、これから1年先あなたはどこにいるかです。5年先または6年先はどうでしょうか。キリストへの献身は現在と同じように堅固でしょうか。神様に従う決意は変わらないでしょうか？

生涯をとおして信仰を守りとおす唯一の力は聖霊の力です。イエス・キリストの弟子として献身を維持するために、私たちは霊に満たされた男女でなければなりません。それが何を意味するか、下記の段落があなたに深い理解を与えるよう祈ります。

明らかな使命

霊に満たされた生活の第一の鍵は、神様が「目的志向」の人々を強められるということを知覚することです。「聖霊と信仰とに満ちた」バルナバは、アンティオキアの信者たちに「固い決意をもって」「主から離れることのないように」と勧告しました（使徒言行録11：23-24）。同様に、パウロは初代教会の信者たちが「神の御心を十分に悟る」ようにと祈りました。そうすれば神様が「栄光の力に従い、あらゆる力によって」強めてくださること知っていたからです（コロサイ1：9、11）。あなたに対する神の目的が成就するように献身してください。そうすれば主の力を当てにすることができます。

より目的志向になる一つの方法は、あなたの人生に対する神様の使命（ミッション）を祈りのうちに考える時間を持つことです。そして短い文章にしてみることです。それを暗記してください。しっかりとした文章ができるまでは試行錯誤するかもしれませんが、できあがったミッション・ステートメント（自分の使命声明文）は、優先順位を定めたり決断するときの基準として役立ちます。過去数週間学んだことを考えてください。神様のあなたの人生に対する目的は一体何でしょうか。

卓越への献身

第二に、高貴な目的は私たちの最高の努力に値します。どんな大きな使命を達成するにも、数えきれない小さな仕事を忠実になし遂げることが肝要です。言い換えれば、あなたの目的を達成する鍵は、人格の問題なのです。ダニエルは「政務に忠実で、何の汚点も怠慢も」なかったので、「優れた霊が宿っていた」ことが明らかになりました(ダニエル6:3-4)。キリストにあるあなたの潜在能力を十分に発揮するために、卓越を目指して献身してください。そうすれば神様は、ますます聖霊を注いで祝福してくださるでしょう。

弟子訓練においては、さらなる真剣かつ熱心な祈りと献身が必要です。聖書研究や暗唱聖句を忠実に、徹底して実行しましょう。服従と時間管理においても勤勉、かつ誠実でありましょう。もちろん、証も積極的に、また情熱を持っていたしましょう。神様の霊に満たされるために、神様との歩みのあらゆる面で卓越を目指して献身しましょう。

伝道の生涯

弟子としての各方面の技術や経験を磨いたら、聖霊はさらに、あなたの周囲の人々の人生に影響を与えられることでしょう。あなたの祈りの生活は、とりなしの奉仕に変わるでしょう。神様の御言葉を学ぶ時間は、公式・非公式で教える奉仕に発展するでしょう。あなたの忠実さ、また獲得した勝利は、他者を高める奉仕に扉を開くでしょう。あなたの個人的な証を分かち経験は、もっと多くの人々に対する伝道の働きへと広がるでしょう。伝道とは、本質的に、単に個人的な神様との歩みの延長なのです。忠実さの実は、聖霊の臨在と力に満たされる経験、すなわち日毎に聖霊に満たされた生活です。

あなたは今、世に良い影響を与えるために必要な技術と道具を持っています。この基礎コースをとおして学んだことが、将来にわたってあなたの人生の重要な部分になるようにお祈りいたします。

チェック表

聖書探究

[] 9課すべての聖書探究を完了して
いたらチェックしてください。

具体的助言

[] 9課すべての具体的助言を完了して
いたらチェックしてください。

イラスト

[] 弟子の輪
[] 朝の務め自転車
[] 約束の弓矢
[] タコ
[] 聖句暗唱の公式
[] 聖書のABC
[] 弟子の輪 (改定版)

暗唱聖句

[] ヨハネ17:3
[] フィリピ4:13
[] 申命記17:19
[] 詩編143:8
[] ヨハネ15:7
[] ローマ4:20
[] 箴言13:4
[] コリント2・8:11
[] 申命記6:6
[] 箴言7:1、3
[] ローマ3:23
[] ローマ5:8
[] ローマ8:14
[] ヘブライ3:13-14
[] コリント1・1:10
[] イザヤ60:22
[] テモテ2・2:2
[] ヨハネ2・1:8

おめでとうございます！ あなたは「いきいき弟子講座」基礎コースをついに終了しました。主の御言葉を蓄える努力を、神は豊かに祝福されたと信じます。御言葉の暗記をぜひ続けて頑張ってください。

このプログラムはあなたに祝福をもたらしたでしょうか？ おたよりやご感想をお寄せください。ありがとうございました。

イラストレーション



この小冊子のイラストレーションは基礎コース講座の重要な一部です。このプログラムの最も重要な原則を網羅しながら、かつ、覚えやすく、思い出しやすいように工夫されています。また良きクリスチャン生活への深い洞察に満ちています。これらをあなたの脳裏にしっかり納めれば納めるほど、あなたはさらに完全にその意味を味わい知り、さらに大きなインパクトを受けるでしょう。

これらのイラストレーションは、通常のミーティング中に、チームリーダーによって説明され、参加者は自分で書き写します。この小冊子は最後のイラストレーションが説明された後に（第7週目）手渡され、メンバーが最終講座に向け復習する助けになります。

これらのイラストレーションを学ぶ際、チーム以外の人に基礎コースを分かち機会を神様に求めてください。主のために奉仕しようとしているあなたに、主が豊かな祝福を賜りますように。

イラストレーション1 — 弟子の輪

「弟子の輪」は、霊に満ちた生活の鍵を描写。特に新しい信者が弟子の道に定着するのを助けるために有用です。



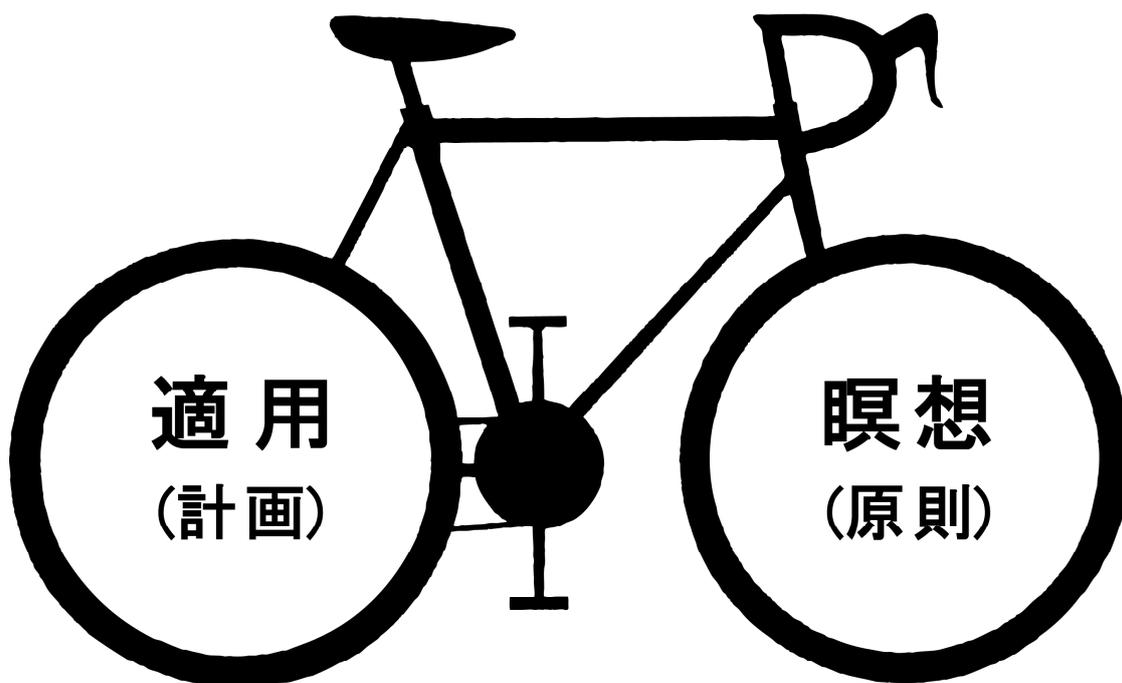
外輪：これは私たちの日常生活です。言葉、行動、態度など、他の人から見えます。キリストが他の人に反映されるのは、この外側生活を通してです。

ハブ：霊に満ちた生活の力は内側 — 心に住んでおられるキリストからきます。私たちを主のために生きるよう動機付け、力を授けてくださるのはキリストです。

スポーク：ハブからの力が外輪に行くには、4つのスポークが立てられなければなりません。祈り・御言葉・服従・証です。これら4項を基礎コースの講座全体で学びます。



イラストレーション2 — 朝の務め自転車



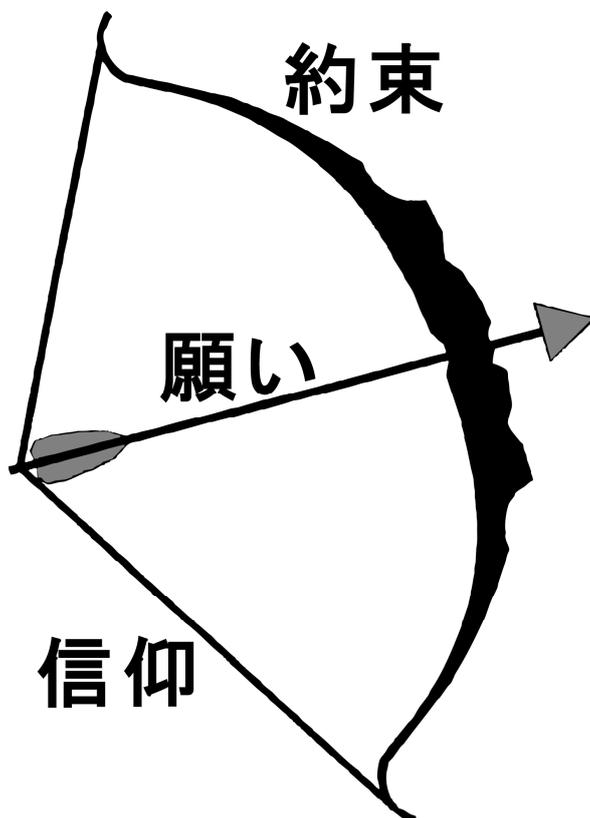
前輪＝瞑想：

神は、聖書の瞑想を通じて私たちに方向を示そうと望まれます。瞑想は、聖書的原则を発見しようと試みる中で、み言葉に反映します。この原則とは、毎日の生活の一つひとつを司る道徳的な教えです。詩編 119 : 33~34

後輪＝応用：

変化は、聖書を現実に適用させようと乗り出す時はじめて起こります。鍵は、原則を、すぐに実行できる小さな計画に移すことです。み言葉の応用は、誰が・何を・いつ・どこで・どのように等の質問に答えるよう要求します。詩編 119 : 59~60

イラストレーション3 — 約束の弓矢



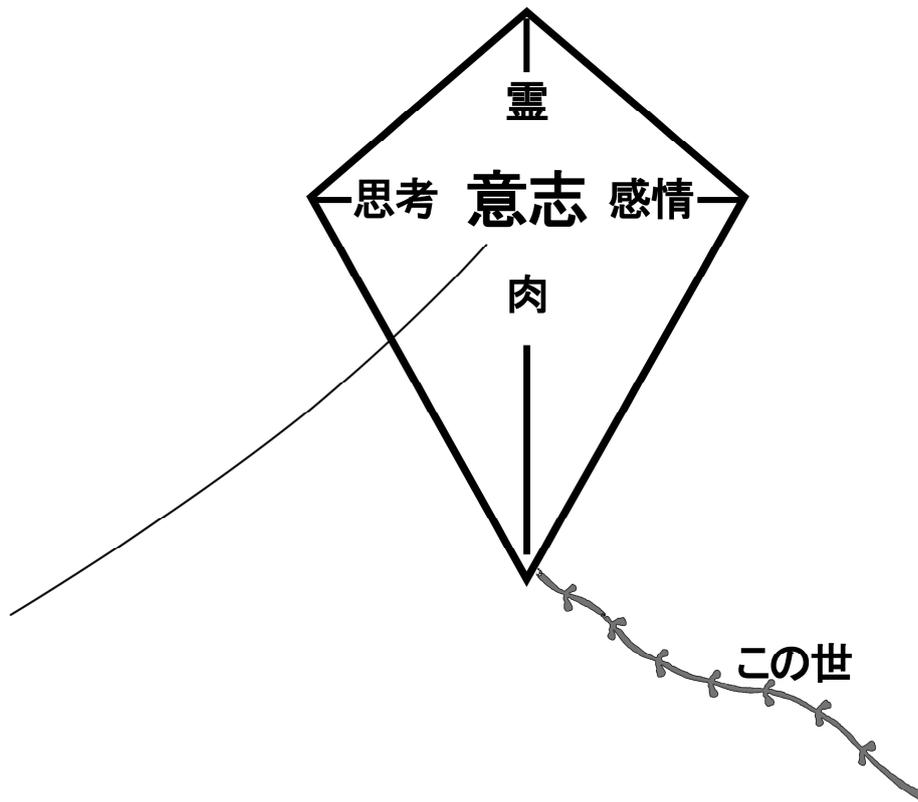
「約束の弓矢」は、祈りの要素と遠くまで届く力とを表現しています。

弓：神様 の約束は、遠くから私たちの願いを伝える力強い大きな弓のようです。どの約束も繰り返し用いて願いを“放つ”ことができます。

矢：願い は、矢のように正確にピタリと狙いを定めなければなりません。そして矢は神のみ言葉にしっかり留められていなければなりません。つまり、私たちの願いは常に聖書に調和していなければなりません。

弦：信仰 を働かせることは、弓の弦を引くようなものです。私たちの心・魂・精神を御言葉に合わせる時間を取りながら、願いを主に述べるとき、神様はお働きになります。弦を強く引けば引くほど、矢は遠くまで飛びます。

イラストレーション4 — タコ



「タコ」は、どうすれば神様に服従した生活が続けられるか、を描写しています。

縦ヒゴ： これは私たちの選択に影響する2つの力をさしています。

- ① 霊＝み言葉に従うことを勧める
- ② 肉＝罪に誘う

注：肉は、この世の魅力に反応させる。

横ヒゴ： これは人間の思考と感情を含む構成要素を表しています。
目標は、この2つのバランスというよりも、両者が聖霊の導きに完全に支配されることです。

意志： これが全ての決断の中心です。
神様の霊によって心にもたらされた聖句に従う選択をする時、肉は十字架に付けられ、霊は新しくされ、心は清められます。これが絶えざる従順の鍵です。

イラストレーション5 — 聖句暗唱の公式

$$SM=3M+R^2$$

「暗唱聖句の公式」は、聖句を効率的に暗唱するための非常に重要な真理を強調しています。それぞれの文字は下記の内容を表しています。

SM	暗唱聖句 Scripture Memory	聖句を暗唱する。
M1	決心 Mindset	暗記に献身する。困難ではあるけれど、み言葉をあなたの心に記そうと神が働かれるのを認識。
M2	暗記 Memorize	一貫して、聖句カードを利用して暗記に努める。常に、完全に暗記する。
M3	瞑想 Meditate	一つひとつの聖句から光をいただく。何か現実の生活に応用。
R	日毎復習 Daily Review	毎日新しい聖句を2か月復習する。聖句の前と後に引用箇所を言う。
R²	全体復習 Back Review	全体復習ファイルから、週1度～月1度、聖句の数に従って復習する。

この単純な原則を実践してください、あなたの暗唱聖句プログラムは大いなるスタートをきるでしょう。

イラストレーション6 — 聖書のABC

Admit 認める

Believe 信じる

Claim 求める

「聖書のABC」は、必要な時すぐに、簡単に福音を提示するために利用できます。それぞれの文字は重要な真理を表しています。

A 認める：

一人ひとりが罪を犯したこと、神様の完全な御心にそむいていることを認めなければなりません。
ローマ3：23、イザヤ59：2、エレミヤ13：23 参照。

B 信じる：

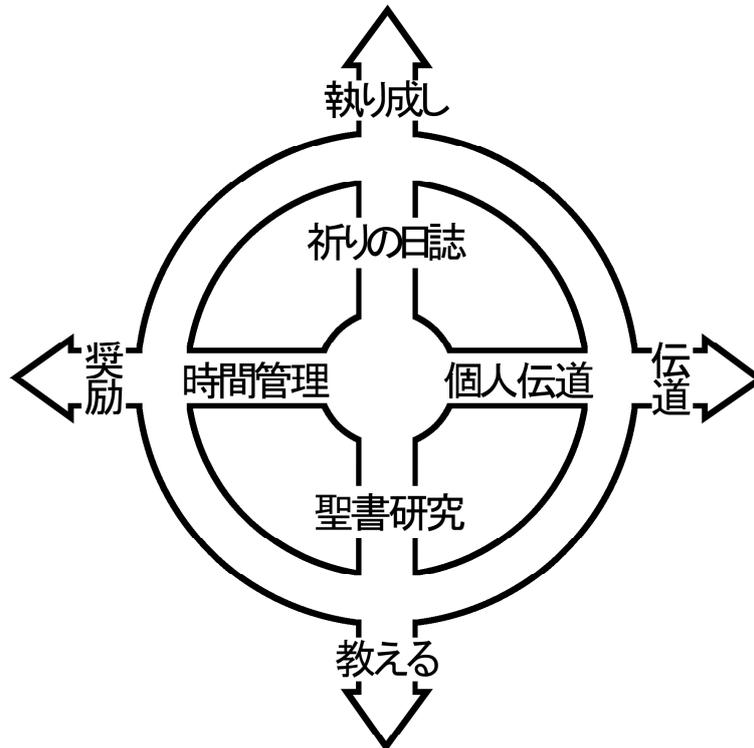
一人ひとりが、イエス様が私たちの罪のために死なれたこと、その死は人間が受けるべき罰を余すところなくのみほしたことを、信じなければなりません。
ローマ5：8、ペトロ1・3：18、イザヤ53：6 参照。

C 求める：

一人ひとりが、日毎の生活を導き、強め、造り変えてくださる聖霊の力を、求めなければなりません。
ローマ8：14、エゼキエル36：27、ガラテヤ5：22-23 参照。

注：コロサイ2：6-7によると私たちは、主を「受け入れた」ように、主にあって「歩む」べきです。一日一日の勝利は、私たちが自分の弱さを認め、キリストの犠牲に全幅の信頼をおき、そして、聖霊の力をとおして信仰によって行動する時に、獲得されるのです。

イラストレーション7 — 弟子の輪（改定版）



弟子の輪（改定版） は、私たちが弟子として成長した時に、4つのスポークがどのように特色ある奉仕のタイプに発展するかを示しています。

いつものように、「弟子の輪」を描き、各部分を復習してください。そして、以前に学んだ具体的な助言（イラストレーション）のすべてが、今どのように進展したかに気付いてください。

- ・ 聖書研究
- ・ 祈りの日誌
- ・ 時間管理
- ・ 個人伝道

留意したいのは、暗唱聖句が4本のスポークの中心であることです。このように、このイラストレーションは基礎コースで紹介したほとんど全てのトピックを総括するものといえます。

次に、外輪の外に向かって各スポークを延長して矢印を描きます。矢印は次のような奉仕を表わします。

- ・ 祈りは、執り成しの祈りに発展します。
- ・ 聖書研究と暗唱聖句は、私たちが教える奉仕に備えさせます。
- ・ 時間管理と服従は、奨励の奉仕に実を結びさせます。
- ・ 証、または福音の分かち合いは、伝道の奉仕に導きます。
- ・ 弟子は、それぞれ重要な奉仕において、キリストのために忠実な働き人になるよう努力します。